

令和8年2月 教育委員会定例会議事録

1. 日 時 令和8年2月24日（火） 午後2時00分 開会
午後2時40分 閉会
2. 件 名 河南町教育委員会定例会
3. 開催場所 河南町役場 庁舎4階 大会議室南
4. 出席委員 教 育 長 中川 修
教育長職務代理者 西川 幹雄
委 員 杉田 みはる
5. 事務局職員 教・育部長 和田 信一
教・育部理事兼指導主事 城者 貴典
教・育部副理事兼指導主事 柏木 俊介
教育課長 藤井 康裕
教・育部副理事兼こども1ばん課長 渡邊 恵子
生涯まなぶ課長 木矢 哲也
給食センター所長 浅井 明郎

（審議内容）

教育長	皆さんこんにちは。
全員	こんにちは。
教育長	すいませんちょっと定刻過ぎましたが、今、昨日も、ものすごく暑かったですね。今、三寒四温の季節とよく言われますし、いろんな意味で、どんどんどんどん春の訪れが、肌で感じるようになってきている時期でもあります。 学校園の方につきましては、この時期、中学校はこないだ私学、大阪の入試も終わりましたし、あとは公立の一般選抜に向けて、もう公立のほうも特別選抜は始まっているんですけど。たくさん人数受けるのは一般選抜でありますんでね。そういう時期になってきています。 あと小学校や、こども園の方もこの時期ちょうど、一番ね、子どもたちにとっては、成長を感じられる時期なのかなと思いますし、進級それから進学に向けて、大事な大事な大切な時間やと思っています。ただインフルがね、ちょっとまた流行っていると、B型が主流らしいんですけど。 その辺はもう日頃からの感染対策を徹底していただいて、1日1日大事に過ごしていただければなとそんなふうに思っております。 今日はですね、この後また案件がありますが、来年度に向けて、非常に大切な議案がありますので、すいませんがまたどうぞよろしくお願いいたします。

	それでは、令和 8 年 2 月の教育委員会定例会を開催いたします。 はじめに、本日の定例会への傍聴につきまして、その申し出はございませんことをご報告いたします。 次に本日の出席者は 3 名です。 定足数を満たしておりますことをご報告いたします。 次に、会議録署名委員は、河南町教育委員会会議規則第 17 条の規定により、西川委員に決定してよろしいでしょうか。
全員	はい。
教育長	ご異議がないようですので、会議録署名委員は西川委員に決定いたしました。 それでは議事日程に基づき、進めさせていただきます。 まず、議案第 2 号。「河南町教職員業務量管理。健康確保措置実施計画について」を議題といたします。事務局の説明を求めます。
事務局	「議案第 2 号 河南町立学校の教職員に関する業務量管理、健康確保措置実施計画について」資料に基づいて説明。
教育長	事務局の説明が終わりました。これより本案に対する質疑をお受けいたします。質疑はございませんか。 ずっと働き方改革と、ここ近年ずっと言われてきていて、本町においても、先ほど説明の中にもありましたが、例えば、D Xとか I C Tの推進であるとか、業務支援員、それから閉庁日の設定、テレワークが可能になるような仕組み等々に取り組んできて、以前に比べたら、大分、減っては来ている。要は、一般的に残業時間は減ってきていると思うんですが、それでもなかなか、3 ページの表を見る限りでは、まだまだこういう状況であるということ。 やっぱりね、個人による差もあります。なので、目標として、4 ページに今説明があったような形を定めて、とにかく、やっぱり働く環境をより良くしていきたい。そんなふうなことでの計画になっています。 特によろしいですか。どうぞ。
委員	今、現状から言えばね、先生方のどういう、もう僕は昭和から平成にかけて現場におった者なので、今時代の流れで大きく変わってきているし、ましてやデジタル化とか、そういうので、昔にないような内容がたくさん出てきていると思います。 ただ、先生方の様子を見させていただいてね、やっぱり、ずーっと過去から見てきて、今、先生方の業務で何が一番やっぱり残業しなければいけないような状況になっているのかなあというのが。

教育長	現状がちょっとわかればですね、今の状況を教えていただけたらと思います。
事務局	本町において、ですね。何かあるかな。 具体的に、これがこんだけの時間取られていますというのは難しいんですけど、やっぱり感覚としましては、放課後の保護者対応であったり、子どもへの対応であったりというのは、やっぱり以前に比べて増えている形があります。 例えば、公園で喧嘩したとかケガしましたという時には、学校に電話がかかってくるんですよ。でも、それ電話受けたらやっぱり行かなきゃいけないし、その間、会議が止まっちゃうとかということも含めて、その分、学校がすごく頼りにされているというところがあるんですけども、そういった放課後や地域での何かトラブルであったり、けがであったりは、学校に持ち込まれることは多いです。 あと、どうしてもやっぱり保護者さんもお勤めの方がたくさんいますので、例えば、午後7時以降でないと電話に出られませんかとなると、学校はもうやっぱりそれを受けて、そこまで残ってそこから電話をかけるという辺りもありますので、やっぱりそういった形で、放課後の保護者さん、児童への対応というのは本当に、今大きな時間を割かれている形になっています。
教育長	はい。ありがとうございます。
委員	もう一つね。5ページのね。(ハ)の下の方のところにね、教師の業務負担を軽減する、負担軽減を促進すべき業務で。 ここに書いてあるように、評価や成績の処理とか、あるんですけども。これ先生にとって一番大事な中身で、むしろここを頑張っていただくために、そこに時間を費やせるように、言うたら雑務とか、そういうのをできるだけ軽減してというような、僕はそういうふうにはここ見たときに思ったんですけどね。 例えば、テストを機械化するとかいうのがね、もう今、当たり前になってきているんやけども。僕らの感覚で言うと、やっぱりテストは、担任の先生が見て、評価して、実はそれは評価と指導が表裏一体になっているので、やっぱり自分の指導のあり方とか、そういうのを見直す機会になります。或いは、子どもの様子を把握したりして、ただ単に点数だけじゃなしに、そういう内容をね、やっぱり把握するためには、むしろここを充実するために、先生方の働き方改革をするのが、今おっしゃっていただいたような保護者対応とかね、そういうようなことが軽減されればね、こういうところに重点をあげることができるのちがうかなという。素朴な感想が1つと。 それから、先生方が、やっぱり、年度当初もちょっと話をしとったんですけども。保護者との連携をね、やっぱりしっかり日頃からしておくことで、今おっしゃっていただいたような電話の対応とか、そういうようなことも、一定、保護者との信頼関係が繋がれば、その辺も改善されるのと違うかなあとか、或い

	は、子どもと接する時間をやっぱりしっかり増やすことによって、そういう、おっしやったようなトラブルも、なくなっていかなかな。 だからそういう意味で、こういう先生の本来の業務に対して、子どもとの関わりのある時間を増やせるような体制をとっていくとかということも含めてね、そういう、単に対応だけの時間を節約するんじゃないしに、その根本となるところをちょっとでも軽減していくような形がいいのと違うかなあ。 もう1つはね。昔ね、僕らが勤めていた時分はね。なんか提灯学校がね。ものすごくよく頑張っている学校というような評価があった時代があつて。うちの学校の先生、遅くまで仕事していただいているということで、言うたら学校としては、あそこの学校行けば、ちょっと提灯学校やでとかですね、そういう噂になるような雰囲気の時が。教育長もひょっとしたらご存じかもわかりませんけども、そういう時代があつて。 今はもうそうじゃないので、だからその辺はやっぱり、校長先生のリーダーシップでね。やっぱり何時までには、仕事を置いてとか。ここ見せていただいた定時に帰る日を、1週間のうちに何回か設定するとかですね。 やっぱり先生方も、与えられた時間内で仕事をこなすような努力をしていかんと。というのは、普通の業務と違って先生の業務はね、なんぼでも残ったら仕事やろうと思ったら幾らでも仕事があつたり、また、後回しにしようとしたら、すぐ後回しにできるような業務であつたりとかいうことがあるので、その辺はやっぱり、校長先生はじめ教職員の皆さんの意識改革をね、やっぱりかなり進めていかなあかんような感じを、今回これ読ましていただいて感じたところなんです。 だから、もちろんこれはこれでOKなんですけども。そうとう意識改革をしなければ、なかなか改善しないかなあというのが、読ましていただいた感想なんです。
教育長	はい。ありがとうございます。何か。
委員	本当に委員のおっしゃること、本当にそうだなあって思いながら聞いていたんですけど。なんか、やっぱりでもここに出てくる業務って、そうですね今別添4のところ見ていたんですけども、教師の業務の中、負担軽減を促進すべき業務。やっぱり大事なことばかりだと思うんですけど。 もう本当に私は、1人の教師が受け持つ生徒が少なくなっていくのが一番いいけどと、ずっと思っています。例えば、複数担任制とかそういう形を、河南町でとっていくのはやっぱり難しいことなんだろうなとは思いますが、やってる市町村もあるみたいなので、せめて、学年2クラスだったら3人先生をつけるというようなことを、少しずつでも実行に移せていけたらなあと思います。
教育長	改めて、ここに業務の3分類というね、見直しがされたという。これも以前

から言われているようなところなんだけど、また、3つ、もう1回確認しようと、若干内容も変わったりしている部分がある。それは今のご時世も含めてっていうこと。

委員がおっしゃった、けど先生の本来の仕事っていうのは、当然そこは大事な部分ですよ。すべてをすべて全部減らしていくのではなくて、やはりここに注力するために、ちょっとこれはどうなんやろうとみんな疑問に思っていたところ辺は、こういういろんな役割分担をしていけばいい。

委員がおっしゃった、特に小学校で言うたらね、昔から学級担任制があって、どうしても自分とこの問題は自分1人でっていうような文化がありましたね。ところが、ここ近年、やっぱりチーム学校とか、いや1人で抱え込んだらだめやんとか、或いは若手の教職員のね、やっぱり先生の仕事ってのは非常に特殊性があって、初任の先生と何十年もやっているベテランの先生とが、同じように仕事をするなんていう職業というのはなかなか特殊なところがある。

それも昔は、ね、それも含めて、みんな通ってきた道やみたいなこと言っていたんだけど、いやいやそうでもないんやっていうところ。チーム、或いは複数担任もおっしゃっていた、複数担任制やっているところもありますよね。南河内でもやっぱりあるので、これを河南町でも、否定はしてないと思います。僕も全然否定してないし、学校現場においても、否定の考え方は多分ないとは思いますが。だから今後、その辺も含めてやっぱり1つの方法として考えていくことっていうのは大事なかなと思います。

それと、意識改革とおっしゃったのは、やっぱりそれが一番大きい。その意味で言うと、この計画は、大きなきっかけになると思うんですね。今までも、働き方改革働き方改革という言葉は、おそらく学校の管理職の先生でも、いろんな形で、先生たちに伝えていきます。また、先生たちの中でも、職場をより良くっていうふうな意識を持った方って、今までもおられたと思うんだけど、今回のこの計画は、やっぱりそれを後押ししてくれるというか、数字でしっかりと合わせる。数字に縛られたらあかんとは思いますが。

けどこれをきっかけに、やっぱり、一段と進めていかないといけない。でも、エッセンスは残しながらっていうふうなところ辺をね、大事にしていかなんとかかな。なので、これは、学校からもちょっと意見ももろたりしています。

なので、今後これを進めていくにあたって、当然やりながら修正もありだと思います。計画なのでね。なので、実態に合う形で、より良くっていうふうな形でスタートしていけばいいのかなというふうには考えています。

中学校の部活問題。これすぐ出てくるのでね。前々から言うてる45時間を超えないってなってきたら、月のうち20日間の勤務日があったとして、中学校なんか特にね、そこに、土日がどちらか一方クラブ活動っていうのはやっぱりまだまだあります。

だから、クラブの方もこの6年間、来年からの6年間で、まずは休日のクラブ活動について、完全に地域展開していこうという大きな流れもありますしね。

それで言うと、やっぱり1日平均2時間。2時間って言うたら、朝8時に来

	て、夕方 6 時半に帰る。これが大体 2 時間。或いは 7 時半に来た人は 6 時に帰る。これが 2 時間、それが 20 日間続けば 40 時間。最終的にはこれ平均 30 にしようと言うんやから。その辺をどうね、圧縮していくのか。 クラブ、今まで通りやったら絶対に、これはもう完璧にオーバーしちゃうので、平日のクラブ活動のあり方も、これはね、来年からも具体的に、取り組んでいかないといけないというふうにはなっています。 その辺をおっしゃるように、現場の先生のみならず、我々も意識をして、そして、それをこうね、言葉で伝え合ったり確認し合ったりってことも、必要になってくるのかもしれませんね。
委員	勤務時間っていうのはどんなふうにして把握してらっしゃるんですか。タイムカードとかあるんですか、今の先生って。
教育長	タイムカードはないけど、何があるかな。
事務局	i P a d で、顔認証で。朝来た時に。帰る時にも同じように。
委員	i P a d は学校にずっと置いてあるのですか。
事務局	そうです。一応、スマホで、自分で打つこともできます。
教育長	以前はハンコ。タイムカードの時期もありました。 どんどん変わってきて今ね、今のが主流になってきていると。
委員	それで、要するに、在校時間が全部出るわけ。
事務局	そうです。
委員	だから、もう会社とかだったら電気消すとか、もう電話も。 最近、学校閉庁日だったときはかけても留守番電話だったと思いますが。
教育長	あのね、実はこの後の教育総合会議でも、出てくるんだけど、ちょっと事務局も頑張ってくれて、一定その方向やね。
事務局	そうですね。令和 8 年度予算の話になるんですけども、今おっしゃっていただいたのは、夕方以降、先生方が残る状況を作らないということで、保護者さんから電話が入った時にですね、例えばですけど、6 時以降は閉庁しておりますのでっていうアナウンスが流れ、そういう対応を各校でできるようにということで予算措置をしておりますので、8 年度より一層働き方改革に取り組んでいきたいというふうになっております。

教育長	これもね、近隣では入っているところも、もう当然あるし、うちも、来年 4 月 1 日からってことにはなかなか難しいし、その辺が整い次第、今もこれまだ、これが通ったらの話になるんだけど、事務局の方もそこ注力してくれて。 何とか、交渉やってくれていて、見えてき始めているかなというところなので、ね、さっき言う、その例えば、自動採点もそうです。 何でもかんでもじゃなくてやっぱり先生が見てっていうところは大事だし、多分今もそれをやってくれているんだと思います。 だから、その辺を上手に削減できるところは、上手に削減する。全部が全部、何でもかんでも機械任せっていうわけでもないだろうし。その辺をね、働き方改革で進めていくいろんなツールをどううまく利用しながら、さっきも申し上げたエッセンスを残しながら、子どもたちのためにというところが、これは不易流行、今も昔も変わりませんので、はい。
委員	もう 1 点ね。僕も経験したんだけど、教頭先生の働き方改革をね、やっぱり、かなり負担が大きい。学校にもよるんだけど、保護者対応から地域との交渉から校内からすべて、やっぱり一番の窓口になっておられるので、だからその辺の、何かサポートできるような体制というのを、やっぱり充実していく必要があるのと違うかな。 やっぱり教頭先生がね、倒れられたらというところちょっと語弊あるけども、やっぱり、まずその分、校長先生とか他の先生方のサポートをしていかなあかとか、いろいろ状況もあるので、やっぱりそういう状況も見てきているので、やっぱり教頭先生を何とかサポートできる体制。 それがあるがためにね。僕は、教頭先生の受験者がものすごく減って、なり手がなくて、大阪市でもね。で、どうするかいうと、校長先生の再任用を残してやっているとかね、要するに、後からカバーすることができないような状況があったりとかね、そんな年もあるので。 だからやっぱり、教頭先生の職務内容をやっぱり軽減してサポートしていくような体制を、やっぱり校長先生、特にね、教頭先生が元気でなければ、学校って、そこが一番大事なところかなあ。先生方も安心して、働けるし、やっぱ校長先生、教頭先生が頑張っていたら、職員の皆さんにも大きく影響するので、その辺はサポートするような体制をとってあげていただいたら嬉しいかなと。
教育長	それで言うとさっきからちょっと出てきていた事務局の説明の中にもありましたけど、教員の業務支援員さんを今雇っています。 それは何もすべてが教頭先生の仕事ってわけではないんだろうけども、あると思いますし、あと、今さっき申し上げた電話対応が、もしこれが導入されれば、大分とそこら辺、教頭先生の仕事っていう意味合いではサポートになるのかなとか。

	あと教育コミュニティスクールづくりって言うて、今年近つ飛鳥小に入って、来年かなん桜小でも。まだまだ軌道に乗るまで、今年近つ飛鳥小も導入はしましたが、運用までなかなかっていうのあるんだけど、けど、地域との連携とか、その辺の窓口っちゅうのは、今までどうしても教頭先生が中心になったところ、今もうなかなかすぐについていうわけじゃないんですが、その辺がCSを進める中で、CSのコーディネーターみたいな方が、その役割少しでも、取ってってくれるってことになれば。今ね、委員がおっしゃっているような、特に教頭先生って多忙と言われる職種でもありますんでね。そこらの、サポートにはなっていくのではないかなとは思っています。 はい。他どうでしょうか。よろしいですか。 はい。では、質疑を終結いたします。 これより討論に入ります。特に賛成反対は。 はい。ないようですので、討論を終結いたします。 それではお諮りします。 本案は原案通り可決することにご異議ございませんか。
全員	異議なし。
教育長	はい。それでは可決することに決することにします。 以上ですべての議案が終了いたしました。
事務局	続きまして、3 諸報告、その他の中の（1）令和7年度 修了式・卒業式及び令和8年度 入園式・入学式について事務局の説明を求めます。
事務局	「令和7年度、修了式・卒業式及び令和8年度入園式・入学式について」資料に基づいて説明。
教育長	この件について何かご質問等ございますか。よろしいでしょうか。 はい。それではまたご予定の方、どうぞよろしくお願いいたします。 他にありませんか。
事務局	はい。ないようですので、次に、その他について説明させていただきます。 事務局から何かありますか。
事務局	「令和7年度イングリッシュキャンプの開催について」資料に基づいて説明。
教育長	はい。今イングリッシュキャンプについてありましたが、何か。ご質問とかありますか。 特にご用事があたらってということなんだけど、例年、委員さんにキャンプファイヤーとか見ていただいています。ご都合のつく方はってということなんで

	すが。もし今年もそれであれば、この1日目の18時半に間に合うように出発する。それは、また後日、どないしましょうか。
委員	僕はいけませんが、ちょっと今年場所が、変わるらしいので。
教育長	委員、これはもうこの日は。
委員	すみません。これね、先ほど11時に、クロージング。ぷくぷくドームに戻ってきてクロージングっておっしゃっていましたよね。 その前のアクティビティっていうのも、なくなるのかな。
事務局	11時から最初は、信太山で修了式を行う予定で実施させてもらっていたんですけども、信太山の方で、修了式を行わない。 そのアクティビティを11時半までやって、昼食を食べて帰ってきてから修了式を行う。
委員	なるほど。
教育長	イングリッシュキャンプはそのような形でいいですかね。 はい。他はよろしいでしょうか。 なければ以上をもちまして、本日の議事日程はすべて議了いたしました。 これをもちまして2月の教育委員会定例会を閉会いたします。 次回開催日は令和8年、3月30日の2時からと決めさせていただいておりますので、またご予定の確認よろしくお願いします。

令和8年9月3日

教 育 長

署 名 委 員